

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

北海道運輸局

評価対象事業名：令和2年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状 況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
下川町地域公共交通会議	株式会社下川ハイヤー	<p>町営バス再編に伴う予約型乗合タクシー導入</p> <p>◆良いともタクシー</p> <p>①班溪 ②溪和 ③北町 ④まちなか(南町・西町・緑町・旭町・錦町・幸町・共栄町) ⑤上名寄 ⑥一の橋・二の橋・三の橋</p> <p>◆班溪線</p>	<p>予約型乗合タクシーの利用者の減少に対応するため、より効率的な運行ルートの設定を行えるよう系統の統合を行った。</p>	A	B	<p>アンケート調査による地域公共交通の満足度は概ね高く、地域の公共交通としての役割は一定程度果たしているものと思う。</p> <p>しかし、日常的な利用者の市街地転居や町外転出などにより年々利用人数は低下してきている状況ではあったが、今年度は特に新型コロナウイルスの影響による減少が大きく、緊急事態宣言が発出された4月から5月の間の減少が著しかった。宣言解除後も対前年度に比べて利用は低迷しており、今後ともその影響を見極める必要がある。</p> <p>また、系統の変更を進めた中での運行初年度であり、効率的な運行ルートの設定と国庫補助金の活用により安定的な運行を目指していく。</p>	<p>・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響により目標を達成することができなかったが、今年度は系統を統合することで、より効率的な運行とするための見直しを行っている。持続可能な公共交通を維持する観点から、更なる事業効率の改善につながる収支率といった目標を設定することもご検討いただきたい。</p> <p>・今後も継続的に維持していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。</p>	